

令和５年度「地域と学校の連携・協働体制構築事業」で重点的に取り組む課題に応じた目標等

課題の類型1	課題の類型2	課題の詳細	左記課題の解決のために 本事業で取り組むこと	本事業で達成する目標 (アウトカム)	目標の達成度を 測る指標	現 状 の 数 値	単 位	本 年 度 の 目 標 値	本 年 度 の 実 績 値	アウトカムの達成度に関する評価・分析 (事業における成果、課題、改善点等)
③学校と家庭の 課題	家庭等における 学習習慣の定着	学校以外で学習を行う習慣が 定着していない児童が増えて おり、家庭等で自ら学習を行う ことに対する指導が学校・家庭 の共通の課題となっている。	地域ボランティアや近隣大学と の連携を深め、放課後におけ る学習の見守りを行う学習支 援ボランティアの人数を増やす ことで、きめ細かな学習支援を 行う。	家庭等で日常的に自ら学習を 行う児童が増える。	普段（月曜日から金曜日）、1 日当たり1時間以上、学校以 外で勉強する児童生徒の割 合	63	%	68	62	普段（月曜日から金曜日）、1日当たり1時間以上、学校以外で勉強する児童の割合について、本年度の実績値は減少した。他方、1日30分以上勉強する児童の割合は85%以上と高く、日常的に学習を行う習慣づけとすれば一定数の効果があるといえる。次年度は、より近隣大学との連携を進め、学習支援ボランティアの人数を増やしたい。また、推進員によるきめ細かな学習支援により、勉強時間の確保とともに質の向上にも繋げていきたい。